



子ども達が待ちに待ったクリスマスが近づきましたね。サンタさんは良い子のお家に来るのだと、誰が決めたのか・・・？最近では色々な場面で出てくるフレーズですね（笑）

気温が下がり、空気が乾燥してくると流行してくる感染症。子ども達の間で冬に流行する感染症は色々ありますが、その中でも今回の2009 冬号では『マイコプラズマによる感染症』をご紹介します。

★マイコプラズマ感染症とは・・・

マイコプラズマは、マイコプラズマ・ニューモニエという名前の病原体で、通常の細菌とウイルスの中間の大きさや性質を持っています。ウイルスと異なり、人工の無細胞培地で増殖できる最小の病原微生物です。5～14歳の年齢に多く、成人にも乳幼児にもマイコプラズマは感染します。家族の誰かがマイコプラズマに感染すると家族内感染が多い病気です。

発熱で発症し、1～2日遅れてわずかに痰のからんだ咳が出現し、徐々に増強します。咳が持続しても全身状態はあまり冒されないことが多く、登園・登校を続けてしまい、クラスなどで感染が広まる場合があります。しつこい咳症状で受診される患者さんが多いです。診断は、臨床症状や胸部レントゲン写真などで行います。血液検査で抗体価が上昇しているかを調べることも出来ますが、結果に数日を要しますので、治療を先に始めることとなります。長く続く咳症状、家族内で数人が同じ症状であるなど、ご心配な症状がありましたら、どうぞご相談ください。

★ホームページにアレルギー情報『最新アレルギーニュース』を載せました！

院長 鳥居新平 のアレルギー情報『最新アレルギーニュース』を掲載致します。アレルギーの治療に関して様々な情報が飛び交うなか、正しい情報提供と最近のアレルギー治療に関しての話題を載せて、患者さんに安心して治療を受けていただけるようにいたします。

当クリニックのHPは、<http://www.nagoya-allergy.com> です。よろしくお願いします。

★新型インフルエンザワクチン 現在の供給状況について

供給数は少しずつですが、増えてきております。ただ今、事前予約いただいた患者様については、優先の条件の方で、予約順に沿ってお電話を差し上げております。学級閉鎖などを未だに耳にします。子ども達のなかでの感染状況は依然続いている模様です。ご心配な状況のままお待ちいただき、ご迷惑をおかけしておりますが、連絡をお待ち頂きますようお願いいたします。

